

滋賀県道路整備アクションプログラム  
地域別アクションプログラム（湖東地域）第3回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年11月4日（金） 9時30分～11時30分

場 所：湖東合同庁舎3階消費生活センター研修室

出席者：大野 均 委員（甲良町商工会 会長）

河原田 均 委員（公募委員）

見津 京子 委員（日赤奉仕団多賀支部 委員長）

小林 伊三夫委員（公募委員）

式部 綱祐 委員（彦根警察署 交通課課長）

關谷 真治 委員（彦根市都市建設部道路河川課 課長）

田中 智恵子委員（豊郷町商工会 理事）

田邊 好彦 委員（公募委員）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学 准教授）

羽田 順行 委員（愛荘町建設・下水道課 課長）

藤本 一之 委員（多賀町地域整備課 課長）

村岸 勉 委員（甲良町建設水道課 課長）

（代理出席：寺居 友彦（甲良町建設水道課 課長補佐））

矢田 全利 委員（彦根観光協会 専務理事）

山田 裕樹 委員（豊郷町地域整備課 課長）

（代理出席：衣川 哲也（豊郷町地域整備課 課長補佐））

欠席者：竹中 仁美 委員（愛荘町商工会 女性部 部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 座長あいさつ

3. 地域ワーキング

（1）第2回地域ワーキングの討議内容の確認

- ・事務局より第2回地域ワーキングの討議内容について説明を行った。

（2）資料説明「第3回地域ワーキング」

- ・事務局より第3回地域ワーキングについて説明を行った。

（3）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声（案）／地域の重点項目（案）について】

- ・地域の声や地域の重点項目は現状にマッチしていると思う。
- ・地域の声のとりまとめは十分まとまっていると思う。
- ・前文の文章はワーキングで出た意見を上手くまとめてもらっていると思う。

① 誰もが安全に安心して移動できる道路空間の整備／通学路における歩道整備

- ・文章で「生活道路における子どもや高齢者、障がい者などの自転車・歩行者～」とあり、健常者は当然入っていると思うが、続いて「観光客が安心して～」との表現がある。観光客は健常者が多いと思うので、少し表現が引っかかった。
- ・意味としては健常者を含めてという共通理解があるが、言い回しについては調整をしてもらいたい。
- ・「誰もが安全に安心して～」の文章では、高齢者や障がい者、観光客などのキーワードがあるのに対して、重点項目では通学路だけに絞られている。「学路や魅力ある、賑わいのある歩道整備」といった形にできないか。
- ・障がい者のための空間や観光客のための道路が包含されるのであれば、重点項目の中に障がい者や観光客の言葉を追記した方が良い。チェック路線が同じなのであれば、しっかり位置付けして表記しておいた方が今後につながると思う。ワーキングの意見としては通学路に絞るという意見ではない。
- ・歩道整備になると歩行者を主として解釈しがちだが、自転車での交通事故が多いというニュースも聞く。自転車道の整備はなかなかできないと思うが、何か自転車についても書かれると良いと思う。

② 交通渋滞の緩和と観光や物流を活性化させる道路ネットワークの強化／国道8号を補完する周辺道路の整備、観光地・物流拠点・IC（交通結節点）へのアクセス強化

- ・国道8号の渋滞がよく言われているが、南から来るときに湖周道路に抜ける道が1つしかないのもう1本あればと思う。芹川を深く掘り下げるとか、分岐の川を作るとかして、道を思い切って広くしてはどうか。
- ・東西道路が弱いので、少しでも解消できるように取り組んでいきたいと思う。
- ・名神名阪連絡道路の視点は入っているのか。また、重点項目では「観光地・物流拠点・IC（交通結節点）」が並列で書かれているが、文章では、観光地・物流拠点も交通結節点のように読める。JRや近江鉄道の駅も交通結節点と認定して表現されているのか。文章の整理をお願いしたい。
- ・ビワイチが推奨されている中で、湖周道路にブルーラインが入っているが、ビワイチには琵琶湖を回りつつ地域を楽しむという視点もあると思うので、観光地へ導くことも考えていく余地があるのではないかと思う。
- ・国道8号を補完する周辺道路が整備されることで、生活道路に大型車が通ることがなくなるだろうと豊郷町の地元住民は喜んでいる。一方で、アクションプログラムに掲載されて

いる 10 番のバイパスが完成することで、沿線の方は、大型車が増えるのではないかと懸念されている。また、歩道整備が一部されていない箇所もあるので心配がある。豊郷町いがいにも、そういう道路がないのか心配はある。

③ 水害・雪害などに備える、災害に強い道路の整備／緊急輸送道路の機能強化

- ・多賀の緊急輸送道路など、大雪の際には 8 号線が完全に止まって 307 号線の多賀町・甲良町をつなぐ道も大変なことになった。ランク I として載せてもらうのはありがたいので、進めてもらいたい。
- ・生活道路が 1 本しかない地域も多く、高齢者が多く住んでいる地域でもある。大きな道路も大切だが、末端まで取り残されることなくみんなが安心して移動できる道路整備をお願いしたい。
- ・資料 26 ページのランク I に設定されているのはありがたいが、指定区間以外の名神高速道路より南側に急勾配の箇所があり、昨年雪では立ち往生したトラックが道路をふさいだことがある。地形的にも難しいかもしれないが、既存の中で何らかの対策を考えてもらえたらと思う。地元も注目している。
- ・多賀町の 3 つの谷につながる道は代替路が難しい。代替路として町道も含めるなら道はあるが、県道・国道が通れないときに町道が機能するかは懸念がある。

④ 既存道路施設の適切な維持管理

- ・新たな道を作るばかりはどうかと思う。現存道路をどう活用するかが今後の課題だと思う。
- ・今ある道路の維持管理も大事だと思う。危険なところを察知して、起きてからではなく、事前に修理などをお願いしたい。
- ・交通管理者の立場からは、地域の人口変動により必要性の低下した信号や交通規制について見直しをしているので、そのような内容も適切な道路の維持管理に入ると思う。
- ・地域の声を聞いてどんどん道路を整備していくのも大事なことだが、既存道路をしっかり維持管理し、将来も維持管理されていくことが大事だと思う。財源やマンパワーを考えると、十分に考えながら道路整備を進めていくことが必要である。

【その他について】

- ・夢のある道路、彦根にはこんな道路があっては良いな、と他地域の人が思うようなものが何かあればと思う。他地域にない、魅力のある道路ができればと思う。
- ・彦根市では、彦根城などの観光施設を利用しながら賑わいのある町、電気自動車を走らせるなどの観光客のウォークアブルのまちづくりを進めている。
- ・8 号線や中山道のことなど、色々な意見を取り入れてもらっているのだから、これから良くなっていくことを期待したい。
- ・愛荘町では総合計画の見直しや都市計画マスタープラン、立地適正化計画など、地域の特性や拠点連携型のまちづくりをどうしていくかという計画を今年度中に策定していくので、そうした計画にもリンクした形でしっかり進めていきたいと思う。